パーソルホールディングス株式会社

PERSOL

クラウドファーストの定着・浸透に向けて 体系的に AWS のベストプラクティスを習得し システム品質と開発スピードの向上を実現

パーソルテンプスタッフ、パーソルキャリアなど、人材ビジネスを手がける事業会社を統括するパーソルホールディングス株式会社。新サービスの開発においてさらなるスピードと柔軟性が不可欠と判断した同社はグループインフラのクラウド化を宣言し、AWS への移行を進めています。そして、2015 年から AWS トレーニングの受講を開始。当初は基礎知識を学ぶトレーニングが多かったものの、現在では応用知識を含めた各種トレーニングを受講。体系的に学ぶことで、IT 人材の適材適所での配置が可能になり、システム品質と開発スピードの向上が実現しています。

ビジネスの課題

- 既存システムのクラウド移行
- 生産性の向上に寄与するデジタルネイティブな人材育成
- クラウドの知識を持つ IT 人材の育成

AWS トレーニングを選択した理由

- 初級編から中・上級編までレベルに合った教育プログラムを用意
- AWS 環境を使ったハンズオン、グループディスカッションなどの提供
- AWS の環境構築経験者による、より実践的な講習

トレーニング開始後の効果と今後の展開

- システム品質の向上
- 開発スピードの向上
- インフラとアプリケーションが連携した DevOps の推進
- 2022 年のクラウド化率 90% に向けてクラウド化を加速

クラウドファーストを掲げ AWS への移行を推進

人材派遣のテンプスタッフ株式会社として 1973 年に創業。以来、グループの規模を拡大し、2008 年に共同持株会社テンプホールディングスを設立しました。2017 年 7 月には社名をパーソルホールディングスに変更し、現在はパーソルグループとして、人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「DODA」、アルバイト求人情報サービス「an」など、働く人の多様な未来を支援するサービスを展開しています。

IT に関しては、ホールディングスのグループ IT 本部が、共通のインフラ・ネットワーク基盤の提供から、会計や人事などグループのバックオフィスを支えるシステムの整備、セキュリティ対策、ガバナンスを中心とした IT マネジメントまでを担っています。グループ各社には自社のサービスアプリケーションを開発するエンジニアリング部門があります。また、IT 領域の中核会社であるパーソルプロセス＆テクノロジーは、グループの IT 開発を担いながら、外部に向けてもヒト・IT・業務を軸としたサービスを提供しています。

「新たにホールディングス内に技術戦略部を立ち上げ、エンジニアリング力の向上などの環境整備を進めています。IT 人材については、グループ各社の独自採用と並行して、ホールディングスで新卒や中途のエンジニアを一括で採用し、計画的に配置する取り組みも進めています。」と話すのは、グループ IT 本部 本部長の内田明徳氏です。

グループの IT インフラについては、新規事業の基盤、開発環境、ビッグデータ系の分析基盤を中心に AWS への移行が進んでいます。

「グループの方針としてクラウドファーストを掲げ、経営会議において 2022年度までにレガシーシステムを除いた 90% のシステムをクラウドサービス上に移行すると宣言しました。現在、新規サービスを中心にクラウド化を推進するとともに、確実な効果を得るためにクラウドの活用方法や、アーキテクチャのプランニングを並行して進めています。」(内田氏)

クラウド技術を体系的に学ぶため AWS トレーニングを受講

グループの生産性向上に寄与するデジタルネイティブな人材育成の重要性を感じていたものの、各自のスキルアップはエンジニアの自主性に委ねていました。その結果、業務に追われて学びの機会・時間を持てないエンジニアも多いことが課題でした。

「クラウドの活用が当たり前となっていく中で、どうすれば最も効果が出るのか、エンジニア自身が経験として持っていなければ優れた企画は立案できません。そのためにもクラウドの技術を体系的に学び、一定の深さで理解した上でバランスよくグループに展開できるポテンシャルを持った人材を育てることがグループの共通ITサービスを預かる組織のミッションです。」(内田氏)

そこでクラウドの利用を促進し、技術スキルを向上させるために、IT アーキテクト、運用、アプリケーション開発、セキュリティなど、さまざまな立場の担当者が最新のクラウド技術を習得する目的で AWS トレー

aws training and certification

パーソルホールディングス
株式会社
グループ IT 本部
本部長

内田 明徳 氏

カスタマープロフィール

パーソルホールディングス株式会社

- 代表取締役社長 CEO：水田正道
- 資本金：174億6,700万円
- 設立年月日：2008年10月1日
- 事業内容：労働者派遣事業・有料職業紹介事業等の事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務

「クラウドの活用が当たり前になった今、AWS トレーニングで技術力を高め、AWS のベストプラクティスを踏まえたインフラやアプリケーションが企画できる IT 人材を育てていきたいと考えています。」

パーソルホールディングス株式会社　グループ IT 本部 本部長　**内田 明徳 氏**

ニングの採用を決断しました。
「2015 年に AWS の基礎を学ぶ Technical Essentials から受講を始め、ホールディングスで IT に特化した新卒採用を開始した 2016 年にAWS トレーニングの受講を本格化しました。特にクラウドに関する知識がほとんどない新卒者の場合、体系立てて学ぶ機会は重要だと考えました。」（内田氏）
新規サービスを中心にクラウド上でアジャイルな開発を実行するために、内製エンジニアの採用も少しずつ進んでいました。一方で、ビジネス特性上、先進的技術の事例やナレッジの習得にコストをかけにくいこともあり、エンジニアがアクションを起こすしかありませんでした。海外サイトを調べる、社外セミナーに参加する、などを自発的に行っていました。そこで、ホールディングス配下の「技術戦略部」にて受講コースやコストを取りまとめ、積極的にエンジニアが学ぶ機会を提供することにしました。
学んだ成果は、技術戦略部にて主催するグループのエンジニアが垣根を越えてネットワーキングする「テックカンファレンス」にてナレッジ共有し、スキルアップの好循環を生んでいます。

受講者数は年々増加
傾向は初級編から中・上級編へ

現在、AWS トレーニングの受講は、原則として告知して受講者を募る自己申告制を採用しています。受講人数は年々増加しており、2015 年、2016 年は初心者向けコースがほとんどだったものが、2017 年、2018年にはアーキテクチャ、セキュリティ、運用の自動化、AWS 上でのアプリケーション開発、データウェアハウスの設計など、中・上級者向けのトレーニングが増えています。
「メインの受講者は、ホールディングスのグループ IT 部門と、グループ各社のテックリード系のエンジニアです。サービス部門単位で毎年受講者を出し、翌年には次の人材にバトンタッチする形が多く見られています。また、初級者向けのトレーニングを受けた受講者が、翌年は一段階上のトレーニングにシフトするという流れも生まれています。」（内田氏）
受講者の感想を聞いてみると、「実際の環境を使ってハンズオンで学べるのがいい。」「トレーナーは用意されたテキストに沿ってしゃべるのではなく、実体験に基づいた話のため、とてもリアリティがある。」といった声があり、実態に即した知識が学べる場としてメリットを感じているといいます。また、受講者からは「自社に帰ってからも講習で使った環境を再現して復習したい。」といった前向きな意見も生まれています。

自己流のインフラ設計がなくなり
高いシステム品質を維持

AWS トレーニングの受講を開始して 4 年間で、AWS の知識を体系立てて習得したエンジニアの数は約 3.5 倍に増えました。その結果、社内でクラウドに関わる業務を担当する際も、エンジニアの意識にも変化が現れました。
「AWS の実践的な活用の場を経験した結果、自己流でインフラを設計することもなくなり、高い品質を維持できています。開発スピードをいかに早めるかを考えるきっかけになることから、インフラとアプリケーションが密接に連携する DevOps を推進していくうえでも役に立ちそうです。」（内田氏）
クラウドサービスの信頼性や利便性がますます高まる中で、受講しない手はないと言い切る内田氏。2022年のクラウド化率90%の目標に向けて、クラウド活用の流れは加速していくといいます。
「今後の課題はアプリケーションをクラウドネイティブにしていくことです。クラウド化をきっかけに疎結合なシステム構成を組み、メンテナンス性、拡張性、耐障害性を高めていきます。当グループでは、まだ属人的で人力に頼った人材紹介サービスが残っています。今後より高度なマッチングサービスを提供するためには、あらゆるデータを一箇所に集約して活用することが重要で、それにはクラウドが欠かせません。」（内田氏）
そのためにも、AWS トレーニングを中心に社内にクラウドの知識をグループ内に浸透させる取り組みは今後も続けていく考えです。そしてゆくゆくは AWS トレーニングを受けた受講者が社内のエバンジェリストの役割を果たし、AWS やクラウドの知識をグループ全体に伝達していくことが期待されています。

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社
〒141-0021　東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア　https://aws.amazon.com/jp/
Copyright © 2018, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.